



コーナー部材「大日ECOコーナー」

# ものづくりも行う 異色の運輸会社

## 大日運輸 株式会社

### 事業内容と沿革

#### 付加価値の追求から 生まれたものづくり

創業は昭和41年で、建築資材を取り扱う運輸会社としてスタート。現在は大阪府門真市内に2つのサービスセンター、同大東市内に1つのサービスセンターを持つ。保有車両は12台。「D-LINE」と呼ばれる基幹システムを構築し、配送一倉庫管理一加工一販売といった業務を効率的に行うほか、トラック協会のネットワークやローカルエリアネットワークを生かして、「いつでもどこでも何でも割安に運べるサービス「帰る便・スキマ便・夕方便」などを展開する。一方、端材となった建築資材の加工に乗り出したのは、石井英信社長の息子である石井肇専務のアイデア。石井専務は、商社で勤務していた経験を持ち、流通分野に明るく、かねてから企業としての付加価値向上を模索していた。そういった中、倉庫管理と加工業務を合体させたワンストップの物流加工サービスを開発。倉庫内に切断機や高周波接合機を配置して、建築端材(外壁材)から住宅の躯体に取り付けるコーナー部材(出隅)を作り出し、「大日ECOコーナー」という商品名で現場に納品する。建築現場においては廃棄処理費用などの削減につながるメリットがあり、ユニークな事業形態の運輸会社として注目を集めている。

### 強み

#### 配送力と顧客ニーズへの 対応力で信頼獲得

安心・安全で正確な配送力に加えて、小ロット多品種配送など顧客からのさまざまな要望に対してきめ細かく対応できるのが強み。空パレットや廃材の回収、さらには建築現場における急な納期変更などにも迅速に対応するほか、各種木工機械を使ってプレカットを行い、「場所なし ゴミなし 埃なし」の施工に貢献している。そして、これらの業務を効率よく行えるようにしているのが門真第1サービスセンター内にある営業本部で配送部・業務部・倉庫課・加工課の4部門で構成されている。各部署のパソコン端末は「D-LINE」と呼ばれるネットワークで結ばれており、配車状況や建築資材の保管状況などが一目でわかるようになっている。また、「大日ECOコーナー」についても同様に、バーコード管理により加工状況や完成時期がリアルタイムで見ることができる。そのほか門真第2サービスセンターは20tトレーラーに対応した「スルーセンター」。大手建築資材メーカーから持ち込まれた建築資材をいったん保管し、状況に応じてそれを近畿一円に発送する。保管に関しても1000L容量の特大防水ビニール袋を開発するなどきめ細かなサービスを展開し、顧客から高い信頼を得ている。



「大日村」の社員の皆さん



断熱ボードの切断作業



門真第1サービスセンター



コーナー部材の生産現場



若手中心のQCサークル活動

- 企画・提案
- 試作・受託
- 短納期対応
- 多品種少量
- 量産対応
- コスト相談
- オンラインワン
- 海外対応

### カドマイスターの取り組み

#### 家庭的な職場環境も 強さの秘密

営業本部内には、事故が起こらないよう注意を喚起するための絵がたくさん貼られている。これらの絵は従業員の子供たちが描いたもので、家族的な空間を醸し出す。また、「ありがとう」と言ってもらえた回数を毎日帰社する際に記入するなどユニークな試みも実践中。女性を中心に高校を卒業したばかりの新入社員から70歳代の超ベテランまでさまざまな世代の人が働いていることから、石井専務は「村のような会社で、「大日村」と呼んでいる。村で働く以上は、みんな仲良く元気であってほしい。また、「ありがとう」と言うことでみんなが気持ちよく仕事ができるようになり、また会社にも行きたくなる」と熱っぽく語る。「大日ECOコーナー」のQCサークル活動においても作業改善や品質向上はもとより、最終工程のベテラン社員が気持ちよく仕上げ作業ができるよう、若手社員が持ち込まれた端材の歪みの矯正方法や切断する角度などについて研究を重ねるなど、家族的な職場環境も強さの秘密となっている。

### 今後の展開

#### “ありがとう”の創造で、 物流商社を目指す

激しい価格競争や長時間労働に低賃金というイメージが強い業界にあって、20年ほど前から「改革」に取り組んできた。そして、「大日ECOコーナー」の製造・販売という新たな事業を立ち上げたことで、配送一倉庫管理一加工一販売と業容を拡大してきた。そして今後もさらに付加価値を高める目的で、住宅用フローリング材の色塗装業務などにも取り組む方針。また石井専務は「住宅以外の分野でもチャレンジしたい。目指すは「物流商社」と意気込む。新卒採用も3年目となり、若手社員が増えてきた。OJT教育を実践するほか、QCサークル活動での取り組み成果を社内外で発表させるなど人材育成にも余念がない。社内報の「大日ニュース」には社員のコメントが多く1つのコミュニケーションツールとなっている。「ありがとう」の言葉が増えることが企業の成長につながると考えている。物流商社として、あらゆる分野で「ありがとう」を創造していきたい」と意欲を見せる。

建築資材の配送・倉庫管理・加工・販売を手がける物流のコンビニ



代表取締役  
石井 英信さん

主に建築資材の配送・倉庫管理を行う会社ですが、加工機能を持っていることが同業他社と大きく違うところです。加工業務の内容は、住宅の建築現場から持ち込まれる端材(外壁材)を加工して、住宅の躯体に取り付けるコーナー部材(出隅(でずみ))を作り出すもので、「大日ECO(エコ)コーナー」という商品名で展開しています。経営理念は、「“ありがとう”と言ってもらえる仕事を通じて豊かな暮らしを創造します」。経営方針として「会社はかかわるすべての人を幸せにする装置」を掲げています。そして経営目標は、「ありがとう数日本一」です。

#### 主な事業内容

建材、食品、化学品の配送・倉庫管理、建築資材の加工

#### 主な取引先(納入先)

建材、食品、化学品関係の企業約200社

【住 所】〒571-0016 大阪府門真市島頭3-7-3  
【T E L】072-884-6111  
【F A X】072-884-6114  
【創 業】昭和41年4月 【設 立】昭和46年2月  
【資本金】1,000万円 【従業員】50名

<http://www.dun.co.jp/>

